

クランプ式 カートリッジフィルターハウジング（TL） 取扱説明書



www.oztter.com

OZTTER CORPORATION

目次

◎ ご使用上の注意	2- 3
◎ 各 部 の 名 称	4
◎ 操 作 手 順	5 - 6

ご使用上の注意

1. 本書に記載されている注意事項及び操作過程を遵守してください。
2. 本書に記載されてある使用方法以外で使用した場合、安全は保証できません。
3. 本製品は圧力容器に属するため、担当技術者が設置してください。
4. 本製品を運搬、設置、使用する前に必ず本書をお読みください。
5. 設置の前に、製品に破損や部品の紛失がないことを確認してください。破損や変形が生じた場合は、製品の使用を止めてください。
6. 使われる流体が該当するハウジングに適合するか、事前にご確認ください。
7. 設計仕様に従って使用し、設計圧力と操作圧力の範囲に注意してください。
8. ハウジングは平坦な所に設置・固定してください。振動のある面や凹凸のある面には設置しないでください。
9. ハウジングが完全に設置され、適切に配管されるまでは、蓋（カバー）を開けないでください。任意に開ければハウジングが倒れる恐れがあります。
10. 圧力の急激な増減や不安定な水圧による液漏れを防ぐため、圧力開放バルブを設置して、水圧を安定させることを推奨します。
11. バルブの急激な開閉や生産ラインでの圧力脈動は、ハウジングが破損する原因となります。
また、ハウジングへの衝撃や過大な流量、逆流等は、ろ材やハウジングの破損の原因となり

ますので、このような使用方法は避けてください。

12. カートリッジフィルターを交換する際は、必ずハウジング内の圧力を放出してください。特に高温流体を使用している際は、その流体が噴出することがあるので注意してください。

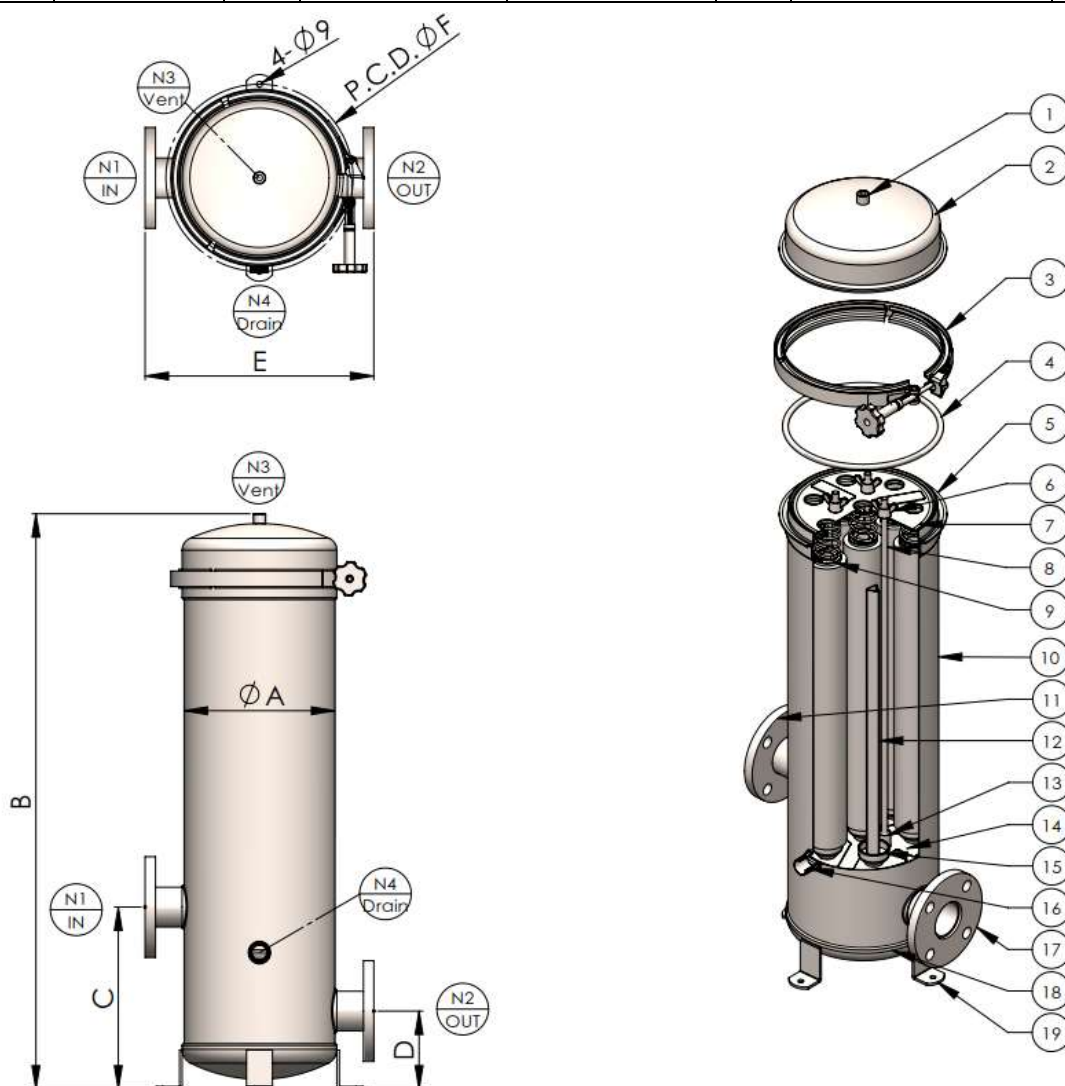
13. 適切な O リングを使用し、また O リングの交換が必要かどうか定期的に点検してください。

O リングの劣化、損傷等は流体が漏洩する可能性に繋がります。

14. プラスチック製のパーツがある場合、長期間の使用により劣化しますので、定期的に点検を行い、必要な場合は交換してください。

各部の名称

No.	名称	Description	No.	名称	Description	No.	名称	Description
1.	ベント	Vent	2.	カバー	Top Cover	3.	クランプ	Clamp
4.	Oリング	O-ring	5.	シェルフランジ	Shell flange	6.	ナット	Nut
7.	プレッシャープレート	Pressure plate	8.	ネジシャフト	Threaded rod	9.	スプリング	Springs
10.	シェル	Shell	11.	入口	Port inlet	12.	カートリッジポスト	Cartridge post
13.	ナット	Nut	14.	仕切板	Cartridge support plate	15.	カートリッジ受け座	Pedestal
16.	ドレン	Drain	17.	出口	Port outlet	18.	鏡板	Bottom cover
19.	脚	Support leg						



操作手順

一、ハウジングを固定する：

- a. 脚⑩を適切な場所に置き、ボルトで地面や機械に固定する。

二、配管：

- a. 出入口⑪⑬にメインホースを接続して、配管が完了。
- b. ベント①にバルブと圧力計をつける。

三、ハウジングを開け、内部の部品を取り付ける：

- a. クランプ③を外してカバー②を取る。
- b. ナット⑥を緩めてプレッシャープレート⑦とスプリング⑨を取り出す。
- c. 使用するフィルターの穴にカートリッジポスト⑫を通す。スプリング⑩をフィルター上部の穴中央に当てはめる。
- d. プレッシャープレート⑦の小さい方の穴にネジシャフトを通す。プレッシャープレート⑦の大きい方の穴にスプリング⑨が当てはまっているか確認する。
- e. 時計回りでナット⑥を締め付けて、フィルターの設置が完了。
- f. 液漏れ防止用のＯリング④が溝にはまっているかを確認し、カバー②を上から真っ直ぐ下してＯリング④の上に置く形で閉じる。
- g. クランプ③を開けて、シェルフランジ⑤とカバー②の間に挟みつけた後、ボルトを時計回りで締める。

四、 **テスト：**

- a. ド出口 N2 及びドレン N4 を閉じて、ベント N3 を開ける。
- b. 入口 N1 から水を入れ続け、ベント N3 から水が溢れ出たところで、バルブを閉じる。
- c. 各接続部で液漏れがないかをチェックする。

五、 **液漏れ止め：**

- a. 液体漏れが発生した場合、まず出入口 N1N2 及びドレン N4 を閉じて、ベント N3 を開けて、ハウジング内部の圧力を抜く。
- b. 一旦クランプ①を緩めて改めて締め付ける。
- c. 再び入口 N1 を開けて、徐々に加圧しながら液体漏れするかどうか確認する。
- d. 漏洩が止まれば、出入口 N1N2 を完全に開けて濾過を行う。

六、 **ハウジングの運転を停止する：**

- a. 稼働中のハウジングを停止する場合、まずは出入口 N1N2 を閉じて、内部の水の流れを止めてからベント N3 を開けて、シェル内の圧力を徐々に抜いていく。圧力を完全に抜いてからハウジングを開ける。